

平成 25 年 1 月 23 日

十和田市長 小山田 久 様

十和田市行政改革推進懇談会

会長 伊藤 伸彦



平成 24 年度事務事業評価外部評価について (報告)

十和田市行政改革推進懇談会は、平成 24 年度の事務事業評価対象事業の中で、外部評価の対象となった 3 事業について担当課から説明を求め、第三者の視点から評価・検証を行いました。その結果を別紙のとおり報告します。

貴職におかれましては、この報告書の内容を行政改革の観点から十分に検討し、今後の事務事業の改善に活用されることを期待します。

平成 24 年度  
十和田市事務事業評価外部評価報告書

平成 25 年 1 月

十和田市行政改革推進懇談会

## 目 次

1. 十和田市事務事業評価の概要 .....	p1
2. 行政改革推進懇談会の役割 .....	p1
3. 評価対象 .....	p2
4. 評価方法 .....	p2
5. 評価結果 .....	p3
(1) 安全・安心メール配信システムの整備	
(2) 介護予防事業 湯っこで生き生き交流事業	
(3) 地域防犯活動の支援事業	
6. 横断的課題 .....	p5
7. 付帯事項 .....	p5

### (参考資料)

- ・平成 24 年度 十和田市行政改革推進懇談会 委員名簿
- ・平成 24 年度 十和田市事務事業評価内部評価対象事業一覧

## 1. 十和田市事務事業評価の概要

十和田市では、十和田市総合計画に掲げる「感動・創造都市～人が輝き 自然が輝き まちの個性が輝く理想郷～」の実現に向けて各種事業を展開している。同時に、厳しい財政状況の中で地域社会の健全な発展を目指し、簡素で効率的な行政運営を図るため、行政改革に努め、事務事業評価を実施している。

十和田市が実施する事務事業評価は、平成 19 年度及び平成 22 年度の試行を踏まえ、平成 23 年度から外部評価の導入も含めた事務事業評価を実施し、評価の客観性、信頼性及び透明性の向上と成果重視の市政運営を図っている。

平成 24 年度は、前年度の事務事業評価市民検討委員会の提言を踏まえ、事業の関連性が高い十和田市行政改革推進懇談会において、事務事業の外部評価を行うとともに、1 事業については委員が選定し、外部評価を実施した。

- 1 事務事業評価を実施することにより、事業のPDCAサイクルを確立し、①職員の事務事業に対する意識向上 ②効率的で質の高い行政 ③市民の視点に立った成果重視の行政 ④市民への説明責任の徹底を図る。
- 2 平成22年度に試行を実施。平成23年度(今年度)が本格導入初年度。

### 評価対象事務

十和田市の将来像<感動・創造都市～人が輝き 自然が輝き まちの個性が輝く理想郷>実現のため、「選択と集中」の視点のもと市として重点的に取り組む事業を取りまとめた「第1次十和田市総合計画 第2期実施計画」掲載事業(内部管理事務、定型事務等を除く。)を対象とし、効果的かつ効率的な施策展開を図る。

### 外部評価について

**目的:** 第三者の視点で事務事業を点検・検証し、評価内容の客観性及び信頼性を確保し、成果重視の市政運営を図る。  
**対象事務:** 内部評価を行った事務事業の中から、市の裁量が限定されている法定事務や内部管理事務等を除き、第三者の視点から評価を行うことが有意義であると考えられる事業を対象とする。  
**評価結果の取扱:** 市民検討委員会会議の結果を踏まえ、事業担当部署において必要な見直しを行う。



図. 十和田市事務事業評価の概要

## 2. 行政改革推進懇談会の役割

十和田市行政改革推進懇談会は、平成 22 年 3 月に策定した第 2 次十和田市行政改革大綱及び同実施計画の進行管理を行うとともに、今年度から、行政改革と事務事業評価は事業の関連性が高いことから、連携させ、この懇談会で事務事業の外部評価を実施した。

事務事業の外部評価については、担当課において実施した内部評価について第三者の視点から評価・検証を行い、評価対象事業の今後の方向性について検討を行った。

### 3. 評価対象

平成 24 年度は、十和田市総合計画実施計画に掲載されている事務事業の中で、79 の事務事業について担当課による評価が行われた。

その中で、第三者の視点から評価を行うことが有意義と考えられる次の事務事業について外部評価を行った。

#### 【外部評価対象事務事業】

- (1) 安全・安心メール配信システムの整備 (総務課)
- (2) 介護予防事業 湯っこで生き生き交流事業 (高齢介護課)
- (3) 地域防犯活動の支援事業 (生活環境課)

### 4. 評価方法

事前に配布された評価資料に基づき、検証項目ごとに各委員の意見を集約し、論点を整理した上で、担当課から説明を求め、質疑応答を行った。

その上で各委員による判定を行い、最も多かった意見を委員会としての評価結果とした。

#### 第 1 回行政改革推進懇談会 (平成 24 年 10 月 29 日)

- ・ 委員委嘱 ・ 会長、副会長の選任
- ・ 行政改革に関する件
  - ① 第 2 次十和田市行政改革実施計画の進捗状況
  - ② 質疑等意見交換
- ・ 事務事業外部評価に関する件
  - ① 事務事業評価の概要と進め方について

#### 事前作業

- ・ 2 事業について、評価資料に基づく事務事業の概要、評価内容の確認。
- ・ 疑問点や指摘事項を「事前評価表」にまとめ、事務局へ送付。
- ・ 論点整理 ・ 委員が選定する 1 事業について候補対象を調査

#### 第 2 回行政改革推進懇談会 (平成 24 年 11 月 26 日)

論点整理に沿って議論

- ・ 担当課による追加資料説明 ・ 担当課との質疑
- ・ 事務事業の評価及びまとめ ・ 委員が選定する 1 事業を決定

#### 事前作業

- ・ 1 事業について、評価資料に基づく事務事業の概要、評価内容の確認。
- ・ 疑問点や指摘事項を「事前評価表」にまとめ、事務局へ送付。・ 論点整理



**第3回行政改革推進懇談会**（平成24年12月17日）

論点整理に沿って議論

- ・担当課による追加資料説明
- ・担当課との質疑
- ・事務事業の評価及びまとめ

**提言**

市の対応

- ・担当課による外部評価を踏まえた対応方針の検討。
- ・結果の公表（市広報、HP）

図. 十和田市事務事業評価作業フロー

表. 各事務事業についての論点整理(会議資料より)

事務事業名	論点
安全・安心メール配信システムの整備	① 市として独自にメール配信事業を行うことの意義について ② 利用者(率)拡大を図るための改善方策について
介護予防事業 湯っこで生き生き交流事業	① 事業の運営状況について ② 現時点で介護認定者の抑制、減少につながっているのか。また、今後、どのように事業を展開していくべきか。
地域防犯活動の支援事業	① 防犯活動の有効性を高めるための、犯罪発生件数の経年変化、地域別犯罪発生などの状況について ② 市民の犯罪意識を高めるために、今後どのように活動を工夫するべきか。

**5. 評価結果**

**(1) 安全・安心メール配信システムの整備**

**【事務事業の方向性】**

有効性を改善して継続

**【各委員のコメント】**

論点① 市として独自にメール配信事業を行うことの意義について

○市民ニーズにこたえられるシステムづくり、加入促進の PR 活動に取り組む。

- 情報の中身を見直し、利用者を増やすべき。
- 事業の外部依頼や民間への移行も検討してほしい。

論点② 利用者(率)拡大を図るための改善方策について

- 学校(PTA)へ呼びかけ、子どもの安全を一番に考えてほしい。
- 市民が必要かどうか、どんな情報を得たいか調査をして、事業を行ってはどうか。

**(2) 介護予防事業 湯っこで生き生き交流事業**

**【事務事業の方向性】**

有効性、効率性の改善に留意しつつ事業の重点化を図る。

**【各委員のコメント】**

論点① 事業の運営状況について

- 軽度認定者率が7.6%から6%へと成果が出ているので、参加者を増やすべきである。
- 体操や温泉に入るだけでなく高齢者が外に出るという意味でも大変良い事業と思う。

論点② 現時点で介護認定者の抑制、減少につながっているのか。

また、今後、どのように事業を展開していくべきか。

- 寿命の短い男性の利用者を増やすように工夫する。関係機関とも連携し、事業の内容を利用者がより満足感を得られるように工夫する。
- 参加実人数が段階的に増えるよう配慮し、参加市民を増やす。

**(3) 地域防犯活動の支援事業**

**【事務事業の方向性】**

有効性を改善して継続

**【各委員のコメント】**

論点① 防犯活動の有効性を高めるための、犯罪発生件数の経年変化、地域別犯罪発生などの状況について

(活動の成果指標、活動の重点化にデータが活かされているか)

- ソフト的な改善によって効果を上げるよう努力していただきたい。毎年重点テーマを決めることもよいと思う。
- 防犯協会の存在の理解を深化させるためにも、主体的な事業の発案や実施、組織の活性化を図り、活動の形骸化をさせない工夫や事業が効果的に実施されているのか、成果を示す客観的な指標も必要。

論点② 市民の防犯意識を高めるために、今後どのように活動を工夫するべきか。

- 地域住民の防犯意識啓発、犯罪企図者の抑止力を高めるための新たな手段の改善も必要。
- さらに向上を目指して、有効性を考え効率よく実施してほしい。
- 有効性あつての事業でなければならないと思う。しかし、それぞれの事業主体自らの自立できる環境整備を求める。
- 効率性をよく考えて活動してもらいたい。

## **6. 横断的課題**

### (1)外部評価対象事業数について

- 3回の会議で評価作業ができるのは、3事業ぐらいが上限だと感じた。3事業でも大変だったが、市の事務事業が直接的に生活にかかわっていることがよく分かる貴重な機会である。

### (2)外部評価への対応について

- 外部評価の結果を受けて、事務事業に反映させることが大事。また、取組の経過を公表して事務の透明性の確保に努めること。

## **7. 付帯事項**

### (1)次年度の外部評価委員の選定について

- 市民が行政と生活とのかかわりを考える良い機会となることから、来年度の委員の選定にあたっては、一般公募を検討していただきたい。

### (2)外部評価対象事業の選定について

- 外部評価を行うことで、事務事業担当課の刺激になり、事業に反映されることで、市民のためにもなる。できる限り、外部評価を多くの部署に体験してもらうように事業を選んでいくことも必要である。



参考資料 1

平成24年度十和田市行政改革推進懇談会委員名簿

	役職	氏 名	団体名及び役職名
1	会 長	伊 藤 伸 彦	北里大学 副学長
2	副会長	小 林 博 子	元気づくり会議
3	委 員	石 川 正 憲	十和田商工会議所 会頭
4	〃	工 藤 行 雄	十和田市町内会連合会 会長
5	〃	今 泉 勝 博	十和田市議会議員
6	〃	升 澤 博 也	十和田おいらせ農業協同組合 常務理事
7	〃	國 分 隆 子	<small>ひと ひと</small> 女と男がつくる十和田ネットワーク 会長
8	〃	立 崎 房 子	セーフコミュニティを進める会
9	〃	三 國 節 夫	連合青森上十三地域協議会 事務局長
10	〃	立 崎 享 一	十和田市社会福祉協議会 事務局長

## 参考資料 2

### 平成 24 年度 十和田市事務事業評価内部評価対象事業一覧

No.	担当課等名	市総合計画 実施計画 No.	事業名
1	総務課	85	消防団活動の基盤整備
2	総務課	86	消防屯所の整備
3	総務課	87	消防水利の整備
4	総務課	88	安全・安心メール配信システムの整備
5	職員課	156	職員人材育成実施計画の推進
6	職員課	157	人事評価システムの充実
7	管財課	115	十和田市観光駐車場整備事業
8	企画調整課	17	予約式乗合タクシーの運行
9	企画調整課	18	電気自動車活用事業
10	企画調整課	141	教育福祉プラザの整備
11	収納課	160	税の徴収対策
12	国保年金課	64	国民健康保険事業(レセプト点検業務)
13	生活環境課	10	資源再生利用事業
14	生活環境課	89	外傷予防による安全安心なまちづくり
15	生活環境課	90	交通安全対策事業
16	生活環境課	91	防犯灯設置及び街路灯電気料等助成
17	生活環境課	92	地域防犯活動への支援
18	生活環境課	93	消費生活教育・啓発活動と消費生活相談
19	福祉課	69	特別保育事業
20	福祉課	72	放課後児童健全育成事業(仲よし会)
21	福祉課	73	十和田ファミリーサポートセンター事業
22	福祉課	76	相談、指導体制の充実
23	福祉課	84	母子家庭及び父子家庭に対する支援事業
24	高齢介護課	65	介護保険事業の充実
25	高齢介護課	78	老人クラブ活動支援
26	高齢介護課	79	介護予防事業
27	高齢介護課	81	地域自立生活支援事業
28	健康推進課	58	保健事業
29	健康推進課	61	十和田湖診療所整備の推進
30	健康推進課	70	妊婦委託健康診査事業
31	健康推進課	74	定期予防接種事業
32	健康推進課	75	子宮頸がん等予防ワクチン予防接種事業
33	農業政策課	94	担い手の育成・確保
34	農業政策課	95	農畜産物等総合販売推進事業
35	農業政策課	97	農畜産物加工施設整備
36	農業政策課	99	循環型農業の推進
37	農業政策課	108	資源の回復
38	畜産農地課	101	農業用排水路・農道集落道等の整備
39	畜産農地課	103	十和田市高齢者等肉用牛導入事業
No.	担当課等名	市総合計画	事業名

		実施計画 No.	
40	畜産農地課	105	適切な森林整備を推進するための交付金等の活用
41	観光推進課	112	アーツ・トワダの推進 春・夏企画展の実施
42	観光推進課	114	エコツーリズムの推進
43	観光推進課	148	新渡戸友好都市交流委員会への支援
44	観光推進課	152	多言語生活情報誌の発行
45	観光推進課	153	民間団体の国際交流活動支援
46	商工労政課	123	商店街機能強化事業
47	商工労政課	125	中小企業融資制度活用事業
48	商工労政課	126	中心市街地活性化事業
49	商工労政課	133	雇用創造のための推進事業
50	商工労政課	134	高齢者就業機会確保事業
51	現代美術館	119	アーツ・トワダの推進—ミュージアム・イベントの実施
52	土木課	16	道路の整備
53	土木課	107	林道の維持管理
54	都市整備建築課	6	公園遊具の安全点検
55	都市整備建築課	7	市民参加による緑化の推進
56	水道課	8	上水道第7次拡張事業
57	下水道課	9	下水道の整備
58	教育総務課	36	非木造校舎の耐震改修
59	教育総務課	37	木造老朽校舎の改築
60	教育総務課	41	学校図書の充実
61	教育総務課	42	特別支援教育支援員の配置
62	指導課	44	アシスタントティーチャー派遣事業
63	指導課	48	教育相談事業の推進
64	指導課	150	外国青年招致事業
65	指導課	151	国際教育支援員事業
66	生涯学習課	21	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業(放課後子ども教室)
67	生涯学習課	26	稲生塾
68	生涯学習課	27	北里大学公開講座
69	生涯学習課	50	市民文化祭支援、文化団体への補助金交付
70	生涯学習課	51	芸術文化鑑賞機会の提供
71	スポーツ青少年課	56	とわだ駒街道マラソン大会
72	スポーツ青少年課	57	スポーツいきいき健康づくり事業
73	スポーツ青少年課	149	小学生交流事業の充実
74	中央公民館	28	十和田市寿大学
75	中央公民館	29	十和田市民大学講座
76	南公民館	23	地域活動の推進
77	南公民館	30	みなみ大学
78	東公民館	22	ビオトープ事業活動支援
79	十和田湖公民館	1	公民館講座の推進